



県立総合医療センター

施設整備基本計画の見直しについて

現病院が果たしてきた役割

- 高度専門医療や政策医療の分野において、県全体の医療を支える中核的な基幹病院としての役割
- 新型コロナウイルス感染症の対応では、第一種感染症指定医療機関として、重症者や妊婦等、多数の患者を受け入れ

施設整備のポイント



見直しの趣旨

設計にあたって、最新の患者推計等を踏まえ、適正な病床規模や新病院に求められる医療機能等を精査

内 容

病 床 数

5 1 2 床



4 5 2 床

医療機能の強化

新病院整備の
基本的な考え方や
施設整備方針は堅持

※病床種別の詳細については
今後の設計の中で精査

整備目標スケジュール

開院目標

令和12年度末



令和14年度末

(理由) 新たな地域医療構想との整合、
建設業界の働き方改革の進展
に伴う工期の長期化など

今後の対応

病院建設事業費については、昨今の建設コストの上昇分を含め、今後の設計において積算

将来にわたって本県医療の中核的な役割を果たせるよう機能強化に向けた施設整備を着実に推進し、県民が安心できる医療提供体制を充実・強化